

在宅生活改善調査（調査案）

挨拶文等

貴事業所の概要についておたずねします。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

1) 所属するケアマネジャーの人数	[] 人
2) 「自宅等（3）を除く）」にお住まいの利用者数	[] 人
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	[] 人

問2 貴事業所において、過去1年の間（令和6年4月1日～令和7年3月31日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護度別）」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人	人	人	人	人	人	人	人 ★

問3 貴事業所において、過去1年の間（6年4月1日～7年3月31日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数（行き先別）」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた1)～13)の合計と、問2でご記入いただいた合計人数（★欄）が一致することをご確認ください。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	_____人	_____人
2) 住宅型有料老人ホーム	_____人	_____人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	_____人	_____人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	_____人	_____人
5) グループホーム	_____人	_____人
6) 特定施設	_____人	_____人
7) 地域密着型特定施設	_____人	_____人
8) 介護老人保健施設	_____人	_____人
9) 療養型・介護医療院	_____人	_____人
10) 特別養護老人ホーム	_____人	_____人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	_____人	_____人
12) その他	_____人	_____人
13) 行先を把握していない	_____人	
14) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	_____人	

問4 在宅生活改善調査 利用者票

「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方のうち「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」が対象です。

例えば「頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と思う利用者」、「認知症に伴う周辺症状の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と思う方」が対象です。

1. 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。			2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。						3. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。					
問4-1	問4-2	問4-3	問4-4	問4-5	問4-6	問4-7	問4-8	問4-9	問4-10	問4-11	問4-12	問4-13	問4-14	問4-15
世帯類型	現在の居所	要支援・要介護度	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください			【問4-4で【「3.」を選択の場合】	【問4-4で【「4.」を選択の場合】	【問4-4で【「5.」を選択の場合】	「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。	問4-10で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください	【問4-11で「10」～「16」を選択の場合】	【問4-11で「10」～「16」を選択の場合】	【問4-11で「10」～「16」を選択の場合】	【問4-11で「10」～「15」を選択の場合】
			(1) 本人の状態等に属する理由について、お答えください	(2) 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください	(3) 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください	理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください	理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください	理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください	*実際にサービスがあるかないかに関わらず、利用者にとって適切と思うサービスを選択してください。		利用者の入所・入居の緊急度をお答えください	特養に入所できていない理由をお答えください	特養に入らなかった理由をお答えください	入所・入居できていない理由をお答えください
番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	番号1つ選択記入	あてはまる番号すべて選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号いくつでも選択記入	番号1つ選択記入
1. 独居 2. 夫婦のみ 3. 単身の子供との同居 4. その他の同居	1. 自宅等(持ち家) 2. 自宅等(借家) 3. 住宅型有料 4. サ高住	1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. 新規申請中	1. 該当なし 2. 必要な生活支援の発生・増大 3. 必要な身体介護の増大 ⇒ 【問2-4】 4. 認知症の症状の悪化 ⇒ 【問2-5】 5. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり ⇒ 【問2-6】 6. その他、本人の状態等の悪化 7. 本人の状態等の改善	1. 該当なし 2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから 3. 生活不安が大きいため 4. 居住環境が不便だから 5. 本人が介護者の負担の軽減を望むから 6. 費用負担が重いから 7. その他、本人の意向等があるから	1. 該当なし 2. 介護者の介護に係る不安・負担量の増大 3. 介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから 4. 家族等の介護等技術では対応が困難 5. 費用負担が重いから 6. 家族等の就労継続が困難になり始めたから 7. 本人と家族等の関係性に課題があるから 8. その他、家族等介護者の意向等がある	1. 見守り・付き添い 2. 移乗・移動 3. 食事摂取 4. 排泄(日中) 5. 排泄(夜間) 6. 入浴 7. 更衣・整容 8. その他	1. 家事に支障がある 2. 一人での外出が困難 3. 薬の飲み忘れ 4. 金銭管理が困難 5. 意欲の低下 6. 徘徊がある 7. 暴言・暴力などがある 8. 強い介護拒否がある 9. 深夜の対応 10. 近隣住民等とのトラブル 11. その他	1. 点滴の管理 2. 中心静脈栄養 3. 透析 4. ストーマの処置 5. 酸素療法 6. レスピレーター 7. 気管切開の処置 8. 疼痛の看護 9. 経管栄養 10. モニター測定 11. 褥瘡の処置 12. カテーテル 13. 喀痰吸引 14. インスリン注射 15. その他	1. より適切な「在宅サービス」に変更する(例：小多機 等) 2. より適切な「住まい・施設等」に変更する(例：サ高住への入居、特養への入所 等) 3. より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する(例：定期巡回の利用、もしくは特養への入所が適切 等) 4. 「1.」～「3.」では、改善は難しいと思う ⇒ 【回答は終了です】※ 「在宅サービス」と「住まい・施設等」の定義は、問3-2を参照	<在宅サービス> 1. ショートステイ 2. 訪問介護、訪問入浴 3. 夜間対応型訪問介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハ 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 7. 定期巡回サービス 8. 小規模多機能 9. 看護小規模多機能 <住まい・施設等> 10. 住宅型有料 11. サ高住(特定施設除く) 12. グループホーム 13. 特定施設 14. 介護老人保健施設 15. 療養型・介護医療院 16. 特別養護老人ホーム ⇒ 住まい・施設等を1つでも選択した場合は、問4-12以降も回答	1. 緊急性が高い 2. 入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫 3. その他	1. まだ、申込をしていない 2. 申込済みだが、空きがない 3. 申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない 4. 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない 5. その他	1. 特養だと自由がない 2. 個室がないから 3. 建物が老朽化している 4. 特養の対応が悪かった 5. 空きが出るまで待てなかった 6. 医療面で不満がある 7. その他	1. まだ、申込をしていない 2. 申込済みだが、空きがない 3. 申込済みで空きはあるが、希望の施設に空きがない 4. 申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない 5. その他
記入例	2	1	5	3, 4	3	2	5, 6	7	3	7, 16	2		2, 4	
01														
02														
03														
04														
05														
06														
07														
08														
09														
10														
11														
12														
13														
14														

問7で「1 ある」に○をつけた事業所におうかがいします。

問7 (1) 断った理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 恒常的に職員が不足しているため(すでに職員がケアプランを上限まで持っていたため)
- 2 支援対象者の状態像や世帯状況が支援困難であり、支援するスキルのある職員が不足していたため
- 3 支援対象者が1人暮らしで身寄りもなく、ケアマネジメント以外の支援を要し支援が困難であると思われるため
- 4 報酬が安価であるため
- 5 予防支援は、地域包括支援センターがすべきと考えているため
- 6 事務作業が煩雑であるため
- 7 地域包括支援センターとの関係作りが不十分であるため
- 8 その他()

問8 ケアマネジメント(予防を含む)を行うにあたり、自立支援の理念とは反する利用者(家族)からの要望を受け、説得に苦勞した経験がありますか。(例:過剰と思われるサービスの利用を利用者が望んでいる)
(○は1つ)

- | | | |
|--------|--------|------|
| 1 よくある | 2 時々ある | 3 ない |
|--------|--------|------|

問9 ケアマネジメント(予防を含む)を行うにあたり、介護(予防)サービス以外の利用も含め、ケアプラン(予防含む)を作成していますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 常に介護(予防)サービス以外のサービスの利用も念頭において作成している |
| 2 場合により、介護(予防)サービス以外のサービスの利用も考慮する |
| 3 介護(予防)サービス以外のサービスの利用は考慮しない |

問10 貴事業所では、市からの依頼を受け、認定調査の委託を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 受けている ⇒ 問11 へ | 2 受けていない(または断ったことがある) |
|------------------------|-----------------------|

問10で「2 受けていない(または断ったことがある)」に○をつけた事業所におうかがいします。

問10 (1) その理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------|
| 1 職員の余裕がない |
| 2 調査に時間がかかる |
| 3 調査が難しい(または、結果に責任が持てない) |
| 4 研修を受ける余裕がない |
| 5 受託してもメリットがない |
| 6 市から依頼を受けたことがない |
| 7 報酬が低い |
| 8 その他() |

問11 貴事業所では、日野市在宅療養支援センターを利用したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| 1 知っていて利用した ⇒ 問11 (1) | 2 知っているが利用したことがない ⇒ 問11 (2) |
| 3 知らなかった ⇒ 問11 (2) | |

問 11で「1 利用したことがある」に○をつけた事業所におうかがいします。

問 11 (1) 利用して、どのような結果になりましたか。(○は1つ)

- 1 問題解決に役立った
- 2 問題解決までは至らなかったが、ある程度の方向性を確認することができた
- 3 問題解決に至らなかった
- 4 その他 ()

問 11で「2 利用したことがない」「3 知らなかった」に○をつけた事業所におうかがいします。

問 11 (2) その理由はなんですか。(○は1つ)

- 1 知らなかった
- 2 たまたま相談するような機会がなかった
- 3 利用したいとは思わないため(理由:)
- 4 その他 ()

現在の介護保険サービスについておたずねします。

問12 日野市内の介護資源の充足度についておたずねします。(予防給付を含む)

各サービスについて、不足するサービス、(認知症などの理由で) 支援を断られたことのあるサービス、またサービスの質で問題のあるサービスを選択してください。(〇はいくつでも)

	1. 不足するサービス	2. 認知症を理由に断られた	3. その他の理由で断られた	4. サービスの質に問題のあるサービス
① 訪問介護(ホームヘルプ)				
② 訪問入浴介護				
③ 訪問看護				
④ 訪問リハビリテーション				
⑤ 居宅療養管理指導				
⑥ 通所介護(デイサービス)				
⑦ 地域密着型通所介護(デイサービス)				
⑧ 通所リハビリテーション				
⑨ 療養通所介護				
⑩ 短期入所生活介護(ショートステイ)				
⑪ 短期入所療養介護(老人保健施設のショートステイ)				
⑫ 特定施設入居者生活介護				
⑬ 地域密着型特定施設入居者生活介護				
⑭ 福祉用具貸与				
⑮ 特定福祉用具販売				
⑯ 定期巡回・随時対応型訪問看護				
⑰ 夜間対応型訪問介護				
⑱ 認知症対応型通所介護				
⑲ 小規模多機能型居宅介護				
⑳ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)				
㉑ 居宅介護支援(ケアマネジャー)				
㉒ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム・ユニット型)				
㉓ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム・従来型)				
㉔ 地域密着型介護老人福祉施設				
㉕ 介護老人保健施設(老人保健施設)				
㉖ 介護療養型医療施設				
㉗ 看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)				
㉘ 通所介護事業所等で実施する宿泊サービス				
㉙ 緊急時の短期入所				

介護保険サービス以外のサービスについておたずねします。

問 13 以下のような対応の支援が必要な利用者はいいますか。（あてはまるものに○をして、人数を記入）

1	預貯金の管理や各種申請手続き	()	人			
2	身の回りの物（建物含む）の修理	()	人			
3	宅配負荷なものの購入	()	人			
4	ふれあいサロン、老人クラブなどへの参加の支援	()	人			
5	医療機関内（薬局も含む）の付き添い支援	()	人			
6	その他	()	()	人

問 13 (1) **問 13**のような支援が必要な利用者について、その代理での作業や手続きを行っている人をすべてお答えください。（○はいくつでも）

1	家族・親戚	2	成年後見人	3	権利擁護センター
4	ケアマネジャー	5	ホームヘルパー	6	その他 ()

問 14 高齢者を支援する上で、民間の福祉サービス（介護保険外・市の一般施策以外）の利用を勧める（利用を支援する情報提供をする等）ことはありますか。以下の各サービスの利用状況を回答してください。

（それぞれに○は1つ）

	1 よく利用する	2 たまに利用する	3 ほとんど利用しない	4 利用したことがない	5 知らない
① 警備会社による緊急通報・対応サービス	1	2	3	4	5
② 食事の宅配サービス	1	2	3	4	5
③ 買い物の宅配サービス	1	2	3	4	5
④ 移送サービス	1	2	3	4	5
⑤ 自費のホームヘルプサービス	1	2	3	4	5
⑥ 高齢者の葬儀や財産処分のサービス	1	2	3	4	5
⑦ その他 ()	1	2	3	4	5

問 18 認知症対策関連のサービスのうち、現状で不足しており、今後、拡大が必要だと思う対策はどのようなものですか。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------|
| 1 認知症グループホーム |
| 2 認知症デイサービス |
| 3 認知症の受入れ可能な特別養護老人ホーム |
| 4 認知症の受入れ可能なショートステイ施設 |
| 5 継続的な見守りサービス |
| 6 家族外出時の一時的な見守りサービス |
| 7 認知症の治療を行う医療機関 |
| 8 その他 () |

医療との連携についておたずねします。

問 19 利用者の退院時の支援についておたずねします。

在宅生活の支援をする上で必要な情報を医療機関からスムーズに得られなかったことはありますか。

(〇は1つ)

- | | |
|------|--------------------|
| 1 ある | 2 ない ⇒ 問20へ |
|------|--------------------|

問 19で「1 ある」に〇をつけた事業所におうかがいします。

問 19 (1) 情報を医療機関からスムーズに得ることができなかつた理由を教えてください。(〇はいくつでも)

	市内の医療機関	市外の医療機関
1 MSWが配置されておらず、医師や看護師から話を聞くことができなかったため	1	2
2 医師等が忙しく、話を聞く十分な時間が得られなかったため	1	2
3 医療知識が不足しており、医療職との意思疎通が難しかったため	1	2
4 カンファレンスの必要性を認識してくれず、カンファレンスを適時に開催できなかったため	1	2
5 医療機関（医師等）が訪問看護事業所との連携で完結してしまい、貴事業所と連携してくれなかったため	1	2
6 医療機関との情報をやり取りするための連携ツールがなかったため	1	2
7 個人情報保護を理由に、情報提供をしってくれなかったため	1	2
8 その他	1	2

問 19で「1 ある」に〇をつけた事業所におうかがいします。

問 19 (2) 医療機関から得られなかった情報は、どのようなものですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1 疾患、処方等の医療情報 | 2 医療機関内での生活状況、IADL、ADL |
| 3 家族に関する情報 | 4 退院予定日 |
| 5 その他 () | |

問 20 医療機関の情報を集約している窓口がなく、通院先または往診先となる医療機関を探すのが困難だったことがありますか。(〇は1つ)

1 ある	2 ない
------	------

問 21 退院する医療機関が、患者の在宅後の生活を考慮してくれなかったことはありますか。(〇は1つ)

1 ある	2 ない ⇒ 問22 へ
------	---------------------

問 21で「1 ある」に〇をつけた事業所におうかがいします。

問 21 (1) 市内、または市外の医療機関が在宅後の生活を考慮してくれなかったことにより困ったことは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

	市内の医療機関	市外の医療機関
1 医療機関が在宅移行後の診療機関へ患者を引継いでくれなかったため、家族、ケアマネジャーまたは包括職員が探さざるを得なかった	1	2
2 ケアマネジャーや地域包括職員へ退院の連絡がないまま在宅生活へ移行したため、遅れて支援に入った時には、適切な支援を行っていれば避けられたADLの低下を招いていた	1	2
3 自宅での生活が困難なため、早急に入所施設を探さなければいけなかった	1	2
4 その他 ()	1	2

問 22 退院までの期間が短く、適切に支援できなかったことはありますか。(〇は1つ)

1 ある	2 ない ⇒ 問23 へ
------	---------------------

問 22で「1 ある」に〇をつけた事業所におうかがいします。

問 22 (1) 退院までの時間が短く、適切に支援ができなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1 初めて関わる利用者であったため、在宅生活を想定した十分なアセスメントができなかった
2 必要な医療、介護等の資源を退院までに利用可能な状態に整えることができなかった
3 その他 ()

問 23 医療連携上の困難を解消するために、どのような対策が有効ですか。(〇はいくつでも)

1 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護事業所、地域（近隣）医療機関での情報・意見交換・検討の場を設ける
2 介護事業者の団体、医師会、歯科医師会、薬剤師会、市などにより構成する医療連携に関する検討組織を設ける
3 市で作成した介護と医療の連携シートを活用する
4 「3」以外の介護と医療の連携ツールを活用する
5 電話等で医療機関と密に連絡をとる
6 タブレットなど、ICTを活用して医療機関と密に連絡をとる
7 必要ない（1～6のような対策では解決できない）
8 その他 ()

問 26 (1) -1 **問 26 (1)**で「1 いる」に回答した方のみ、具体的な手法はどのようにしていますか。(〇はいくつでも)

- 1 事業者が定める書式により作成している
- 2 事業者以外の組織が定めた書式により作成している
- 3 エンディングノートを作成している
- 4 その他 ()

問 26 (2) ケアマネジャーとして、在宅での看取りにかかわった経験がありますか。(〇は1つ)

- 1 ある
- 2 ない

問 26 (3) 看取りを行う上での課題は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 家族の負担が大きく対応できない
- 2 ケアマネジャーとして看取りについて十分なコーディネートができない
- 3 看取りを行う上で、訪問看護サービスが足りない
- 4 看取りを行う訪問診療の医師が足りない
- 5 リビング・ウィル等、ご本人の希望について明確にわからない
- 6 ご本人の希望について、介護事業所との情報共有が難しい
- 7 自宅での死亡時に検視検察ケースにならないようにするのが難しい
- 8 知識・経験が不足している
- 9 その他 ()

独居高齢者についておたずねします。

問 27 独居高齢者が入退院をする際に、手続きする方がいない場合、どのように対応していますか。

(〇は1つ)

- 1 代わりに書類を記載している
- 2 代わりにの記載者を探す
- 3 入退院時の書類の手続きは行わない

問 28 独居高齢者で、夜間に緊急の連絡があり、対応を求められた場合にはどのようにしていますか。

(〇は1つ)

- 1 可能な限り訪問して対応する
- 2 特に重大なケースは訪問する
- 3 基本、電話での対応のみ行う
- 4 特に対応は行わない

問 29 独居高齢者が救急搬送の際に、救急車に同乗したことはありますか。(〇は1つ及び回数を記入)

- 1 ある (最近1年間で 回程度)
- 2 ない

問 30 独居高齢者の安否確認を受けたことはありますか。(〇は1つ及び回数を記入)

- 1 ある (最近1年間で 回程度)
- 2 ない

問 31 死亡時の対応についておたずねします。

死亡時に、大家より、引き払い（家財撤去）、身寄りとの連絡、財産処分、遺体の引き取りを求められたことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|---------|-------------------------|
| 1 よくある | 2 ときどきある |
| 3 まれにある | 4 まったくない ⇒ 問32 へ |

問 31で「1」「2」「3」に○をつけた事業所におうかがいします。

問 31 (1) その際、どのような対応をしましたか。（○はいくつでも）

- | |
|-----------------------------|
| 1 すべて自分で手配・対応を行った |
| 2 市や地域包括支援センターに相談し、対応をお願いした |
| 3 身寄りに連絡し、後の対応はすべてお願いした |
| 4 大家に対応を依頼し、対応に携わらなかった |
| 5 その他（
） |

施設からの退去についておたずねします。

問 32 有料老人ホームまたはサービス付き高齢者向け住宅からの退去の相談を受けたことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|------|---------------------|
| 1 ある | 2 ない ⇒ 問33 へ |
|------|---------------------|

問 32で「1 ある」に○をつけた事業所におうかがいします。

問 32 (1) 退去の理由は何でしたか。（○はいくつでも）

- | |
|---------------------------------|
| 1 家賃等滞納のため |
| 2 医療行為が必要となったため |
| 3 本人や家族の希望による |
| 4 要介護度が高くなり、施設での介護では対応できなくなったため |
| 5 その他（
） |

人材確保・育成についておたずねします。

問 33 貴事業所では人材の確保についてどのように考えていますか。（○は1つ）

- | | | |
|----------|------------------|----------|
| 1 充足している | 2 不足していないが、増員したい | 3 不足している |
|----------|------------------|----------|

問 34 人材確保で問題になることはどのようなことですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 募集しても応募がない | 2 良質な人材が集まらない |
| 3 応募があっても、待遇等の条件があわない | 4 募集に費用がかかる |
| 5 派遣に頼らざるをえなくなる | 6 採用しても定着しない |
| 7 その他（
） | |

問 35 人材確保のために、有効と思われる対策は何ですか。(よりよいと思われるものを5つまで○)

- 1 給与水準の向上を図る
- 2 執務環境（設備、備品、情報システム化）の向上を図る
- 3 職場の人間関係や雰囲気向上を図る
- 4 駅周辺等、交通の便の良いところに事務所を開設する
- 5 研修機関との関係作りを行い、卒業生のあっせんにつなげてもらう
- 6 研修生や職業体験学生（インターン）を受け入れる
- 7 事業所、法人の知名度の向上を図る
- 8 事業所内で、先進的なケアマネジメントの取組みを行い、発信する
- 9 法人の規模の拡大を図る
- 10 市内で介護支援専門員資格の取得のための研修を行う
- 11 すでに勤務している介護支援専門員を対象とした研修を行う
- 12 市内の複数の事業所で連携し、集団面接会を開催する
- 13 市内で人材バンクを設立する
- 14 経験ない職員でもわかるような手順書を整備する
- 15 市が呼びかけた研修に参加する
- 16 その他（）

問 36 人材育成のために、有効と思われる対策は何ですか。(よりよいと思われるものを5つまで○)

- 1 個別の職員の育成計画の策定
- 2 効果的な研修の実施
- 3 キャリアパスの作成・周知
- 4 求められる職員像の明示
- 5 法人や事業所の基本理念の周知
- 6 職責にあわせた給与体系の設定・周知
- 7 第三者評価の受審
- 8 リーダーの育成
- 9 行政が実施する研修等の参加
- 10 その他（）

災害時の対応についておたずねします。

問 37 現在、災害時の避難行動に何らかの配慮が必要となる要介護3以上の高齢者は、市内に5千人以上おり、そのような方々に災害情報を正確かつ迅速に伝えるためには、様々な方法で伝える必要があります。災害時要配慮者への災害情報の伝達を補完するための手段として、どのような方法が効果的と考えられますか。

(○はいくつでも)

- 1 市による自動音声電話を活用した災害情報の一斉伝達
- 2 市による電子メールを活用した災害情報の一斉伝達
- 3 防災情報無線による放送
- 4 市のホームページの情報掲載
- 5 市の Facebook、Twitter、LINEなどのSNSによる情報提供
- 6 ケーブルテレビでの文字放送
- 7 地域包括支援センターによる心配な高齢者への個別の連絡
- 8 自治会や自主防災組織による避難行動要援護者名簿に基づく個別の声掛け
- 9 その他 ()

DXの推進についておたずねします。

問 38 貴事業所では以下のような内容をすでに実施していますか。(○はいくつでも)

- 1 各種記録の電子化（ペーパーレス化）
- 2 職員にタブレットを支給し、記録等をそこで記入する
- 3 PHR等を活用した医療機関との患者情報の共有
- 4 遠隔監視できる機器の活用による安否確認
- 5 介護事業所や関係機関とのデータ共有
- 6 web形式での担当者会議の開催
- 7 機器を活用した利用者の睡眠や健康管理
- 8 介護ロボットの導入
- 9 AIを用いたケアマネジメント
- 10 音声の自動文字おこし
- 11 その他 ()

*PHRとは、患者が自らの医療や健康に関する情報を収集した上で、医療機関等に提供する仕組み

自由意見

問 41 何かご意見がありましたら記入してください。

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■